

日本一長いみやぎの運河群の 現在の状況

～貞山運河再生・復興ビジョンの取組～

令和4年6月20日

宮城県 土木部 河川課



1. 貞山運河再生・復興ビジョン 平成25年5月作成
2. これまでのあゆみ
3. みやぎの運河群の復旧・復興の状況
4. みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全
 - ・全国運河サミットinみやぎ
 - ・桜植樹
 - ・みやぎの運河群での取組
5. 貞山運河再生・復興ビジョンの取組状況
6. 貞山運河再生復興ビジョンの今後の推進体制
 - ・みやぎの運河群利活用推進会議
 - ・みやぎの運河群連絡調整会議

1. 貞山運河再生・復興ビジョン 平成25年5月策定



〔策定の趣旨・位置づけ〕

貞山運河再生・復興ビジョン



貞山運河（木曳端・東日本大震災以前）

宮城県土木部
平成25年5月

震災前から貴重な土木遺産として、様々な利活用策が行われてきた運河群では、東日本大震災で壊滅的な被害を受けましたが、単なる復旧に留まらず、築造400年を経た運河の歴史を未来へと繋ぐ、新たなる再生への取組が求められます。

沿岸地域の復興を成し遂げるには、県が主体となる事業だけではなく、市町や国の実施する事業や計画、民間活力を呼び込む取組を連携し、各主体との協働のもとに、長期間にわたり継続的に地域への関心度を高めていくことが重要です。

こうしたことを背景に「貞山運河再生・復興ビジョン」は様々な主体による復興事業の指針となり、運河群を基軸として、共通の理念のもとに調和を持って推進されるための羅針盤の役割を果たすものと考えています。

貞山運河再生・復興ビジョン（宮城県土木部平成25年5月）より抜粋し、一部加筆

1. 貞山運河再生・復興ビジョン 平成25年5月策定



基本理念

運河群（貞山運河・東名運河・北上運河）の歴史を未来へと繋ぎ、
運河群を基軸とした“鎮魂と希望”の沿岸地域の再生・復興

基本方針

人と自然と歴史が調和した、
人々が集う魅力的な
沿岸地域の復興

自然災害に対して粘り強い、
安全・安心な沿岸地域の再生

【4つの基本目標】

- ① 地域にとって誇りある歴史的な運河群としての再生
- ② 自然災害に対して粘り強く強靱な沿岸地域の構築
- ③ 自然環境と調和し共生できる、運河周辺環境の保全・再生の推進
- ④ 継続的な地域間の連携と、未来に向けて発展できる社会環境の構築

1. 貞山運河再生・復興ビジョン 平成25年5月策定



10の主要施策と推進体制

【基本目標1】

- 運河群にふさわしい景観の復元・創出
- 運河群と調和したまちづくりや施設整備の展開
- 歴史的な遺構の保全と復元

【基本目標2】

- 計画を超える災害に対して粘り強い地域社会の構築
- 多重防御による総合的な防災力の強化

【基本目標3】

- 自然と共生したまちづくりや施設整備の展開
- 運河群にふさわしい水質への改善

【基本目標4】

- 沿岸地域の利活用発展を支える交通ネットワークの整備
- 未来に向けて発展できる社会環境の構築
- 国内外との“絆”の強化と，“共感と参加”の拡大



貞山運河再生・復興推進会議

【期別の目標】

短期：被災した運河群および沿岸地域の一日も早い復旧，復興理念の共有化と参加

中期：運河群および沿岸地域における“集いの場”の再生と，広域的な連携の拡大

長期：運河群の歴史を未来へと繋ぐ，100年先を見据えたビジョンの発展

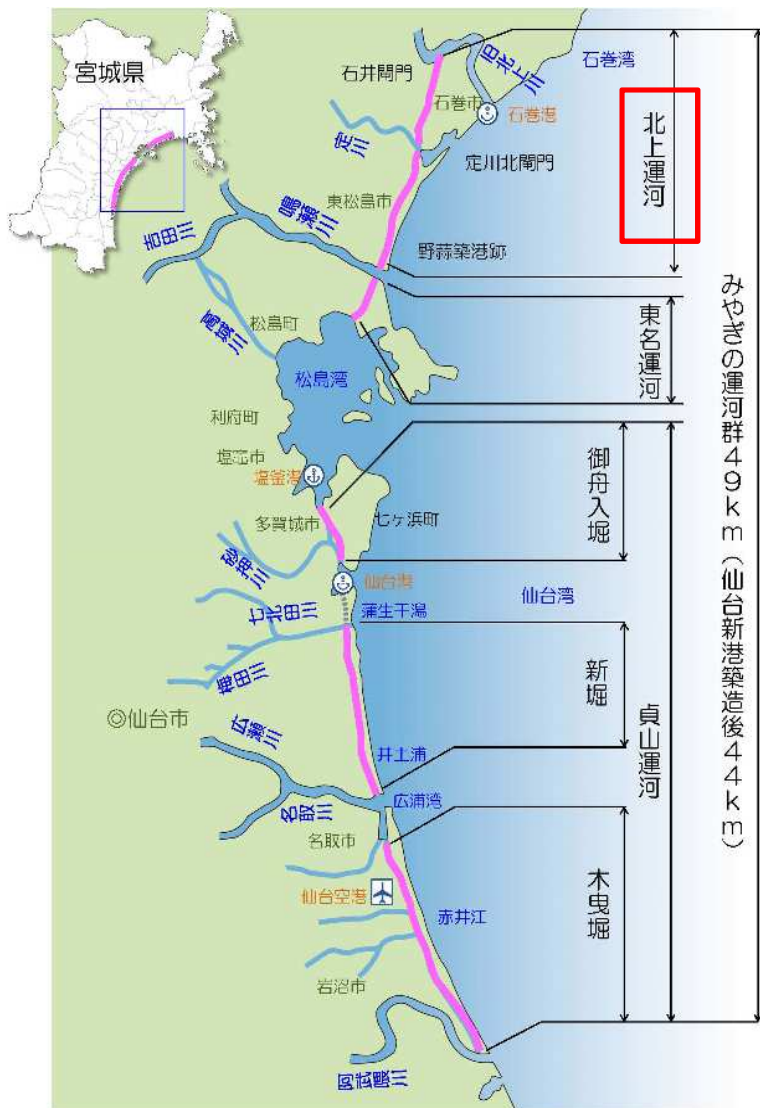
2. これまでのあゆみ【年次表】 みやぎの運河と主な出来事



年 度	復旧・復興事業	貞山運河再生・復興ビジョン関係	桜植樹等の取組
平成23年3月11日 東日本大震災により、みやぎの運河群沿川では壊滅的な被害が発生			
平成24年度	重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会	貞山運河再生・復興ビジョンの検討座談会（第1回）	桜植樹の取組を開始 桜植樹 仙南浄化センター
平成25年度	環境アドバイザー制度設立	貞山運河再生・復興ビジョンの検討座談会（第2回）	桜植樹会in岩沼海浜緑地
		貞山運河再生・復興ビジョンの策定	
		貞山運河再生復興会議準備会（第1回）	
平成26年度	石井閘門の補修工事完了	貞山運河再生復興会議準備会（第2回）	桜植樹会in多賀城緩衝緑地
		貞山運河再生復興会議（第1回）	
平成27年度		貞山運河再生復興会議（第2回）	桜植樹会in貞山公園
			桜植樹 石井閘門
平成28年度	釜閘門 遺構調査委員会	貞山運河再生復興会議（第3回）	桜植樹会in北上運河
	北上運河（北上運河）工事完了		
平成29年度		貞山運河再生復興会議（第4回）	全国運河サミットinみやぎ実行委員会設立
			桜植樹 明治潜穴公園
			桜植樹会in岩沼海浜緑地公園
平成30年度	北上運河（北北上運河）工事完了		全国運河サミットinみやぎの開催
	御舟入堀（砂押貞山運河）工事完了		
	新堀（七北田川水系南貞山運河）工事完了		
	新堀（北貞山運河）工事完了		
	木曳堀（五間堀川）工事完了		
令和元年度	北上運河（南北上運河）工事完了		桜植樹 仙台多賀城地区緩衝緑地
	東名運河（東名運河）工事完了		
	木曳堀（中貞山運河）工事完了		
令和2年度	宮城県河川海岸環境配慮指針		桜植樹 仙台市荒浜地区
	木曳堀（名取川水系南貞山運河）工事完了		
令和3年度	環境配慮記録誌発刊	貞山運河再生復興会議（第5回）	桜植樹 仙台市荒浜地区
	日本一長いみやぎの運河群 東日本大震災からの復旧・復興の歩み（記録誌発刊）		桜植樹 大曲閘門
令和4年度	御舟入堀（旧砂押川）工事完了（予定）	みやぎの運河群利活用推進会議 設立 みやぎの運河群連絡調整会議 設立（予定）	桜植樹会in赤井江（予定）

3. みやぎの運河群の復旧・復興状況

〔復旧・復興の状況【北上運河】〕



【石井水門 完成式典の様子】



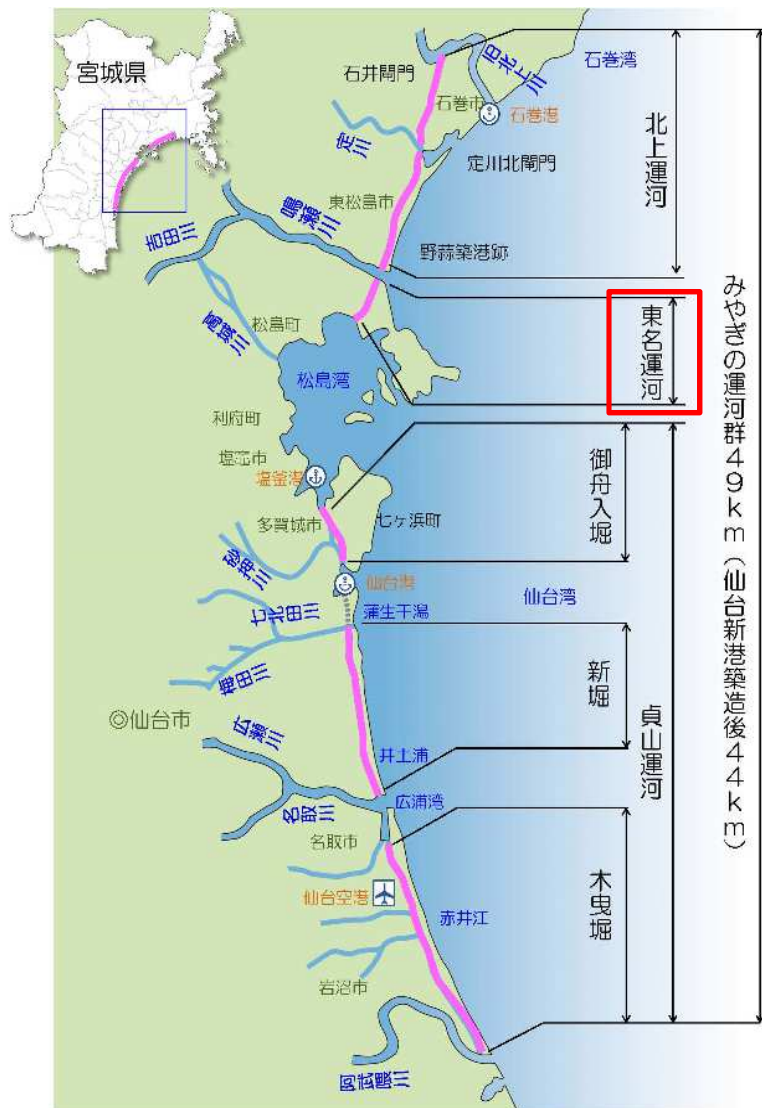
【南北上運河 工事完成】



【釜閘門 工事完成】

3. みやぎの運河群の復旧・復興状況

〔復旧・復興の状況【東名運河】〕



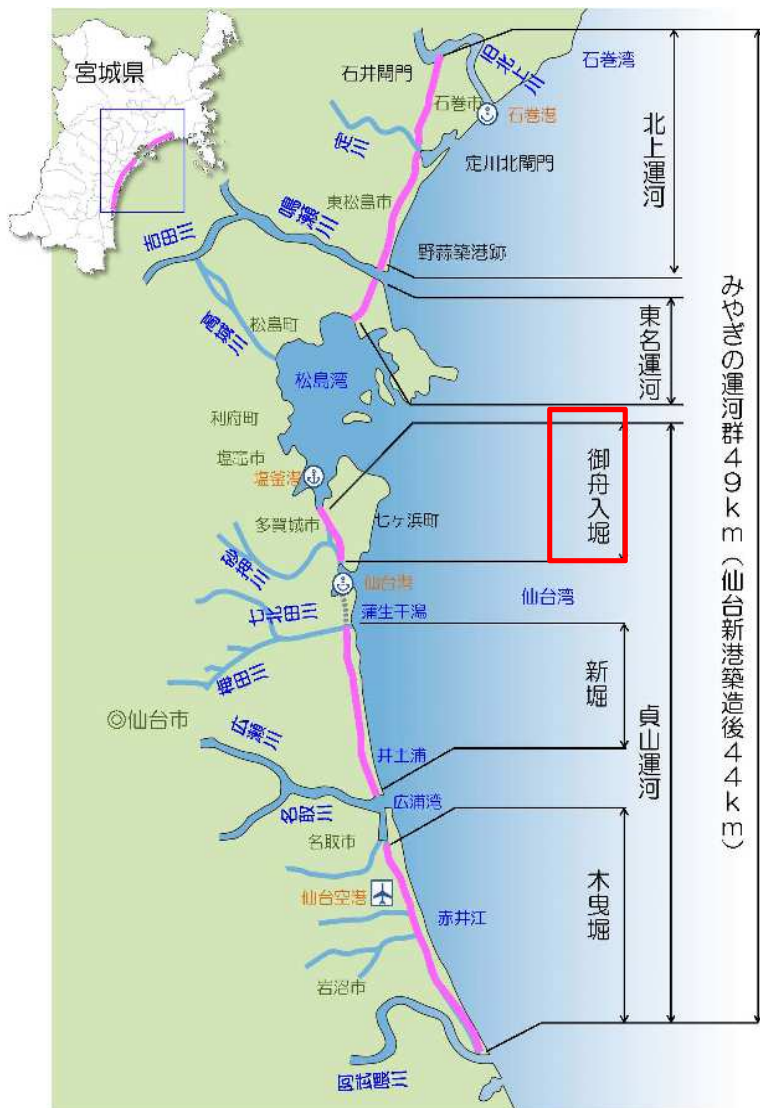
【東名運河 工事完成 松並木の保全】



【野蒜水門 工事完成】

3. みやぎの運河群の復旧・復興状況

〔復旧・復興の状況【御舟入堀】〕



【蒲生干潟の様子】



【御舟入堀工事 完成 旧砂押川】



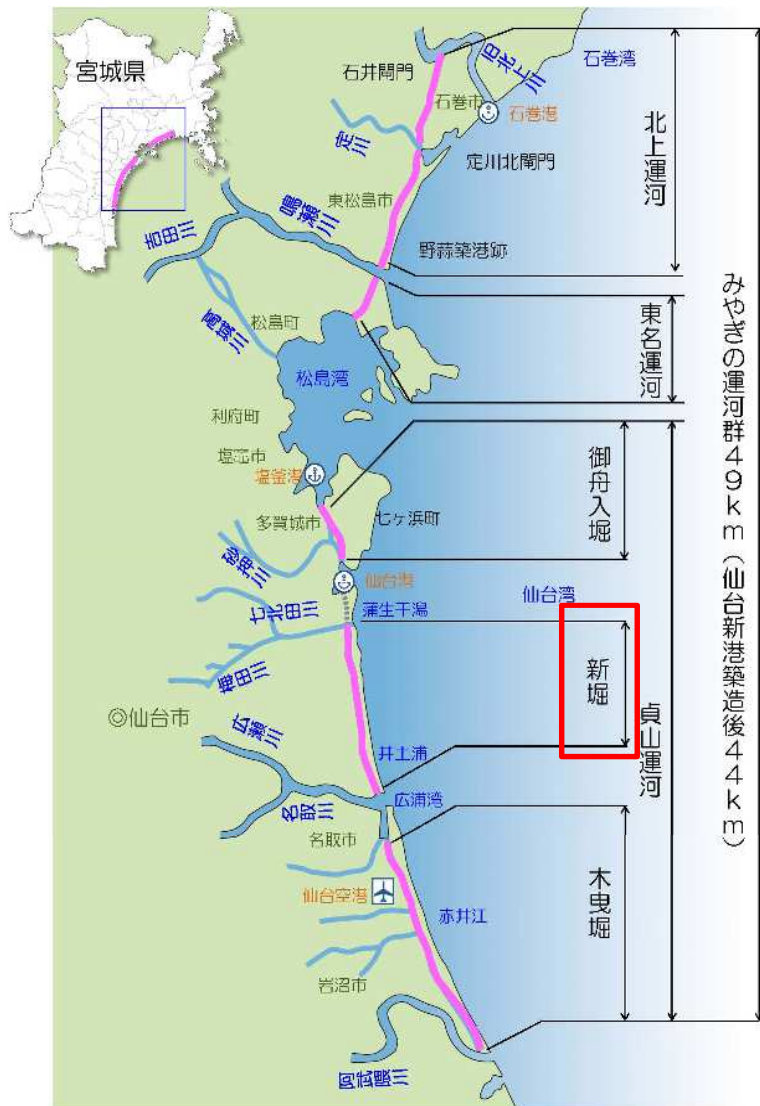
【御舟入堀工事 完成 旧砂押川】



【御舟入堀を散策する様子】

3. みやぎの運河群の復旧・復興状況

〔復旧・復興の状況【新堀】〕



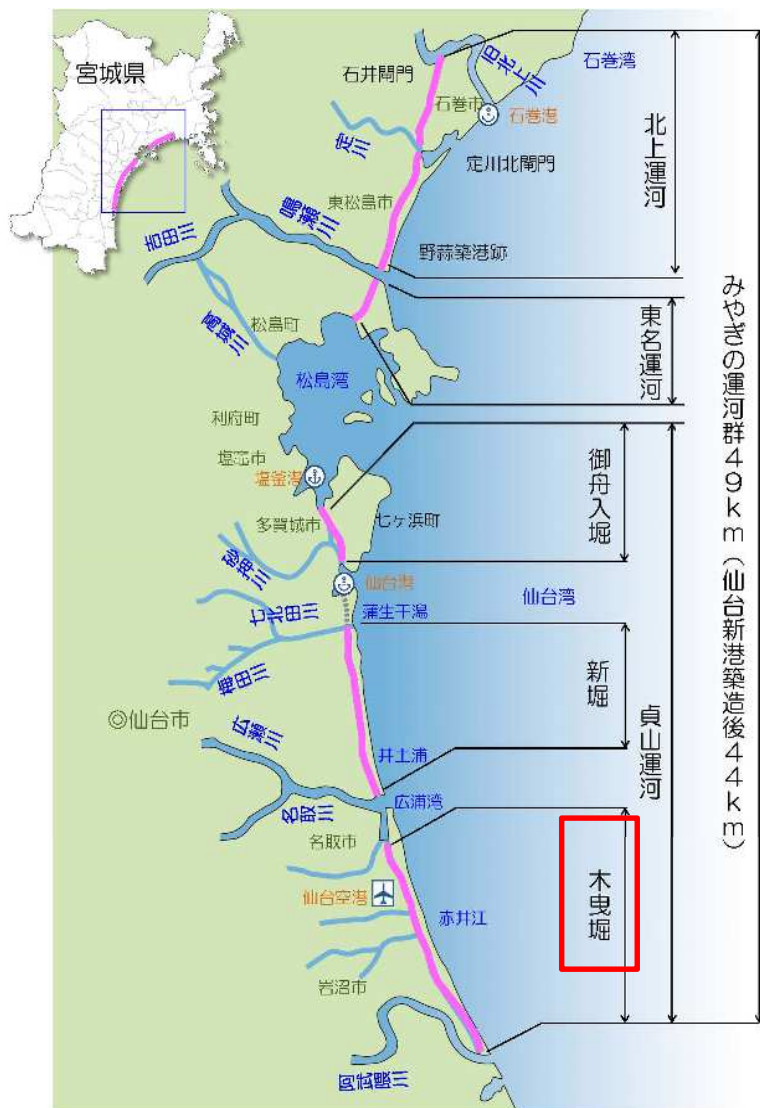
【新浜周辺の様子】



【新堀 工事完成】

3. みやぎの運河群の復旧・復興状況

〔復旧・復興の状況【木曳堀】〕



【保全された松並木の様子】



【橋から望む木曳堀】



【阿武隈川合流地点】

4. みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全



〔全国運河サミットinみやぎの開催 H30.10〕

サミット



県・沿川10市町・6利活用団体による
全国運河サミット in みやぎ宣言の様子



パネル展



会場の様子

スタディツアー

全国の参加者の皆様で
「運河沿川の震災復興の今」を学んで頂きました。



石巻・東松島コース



仙台湾・松島湾コース

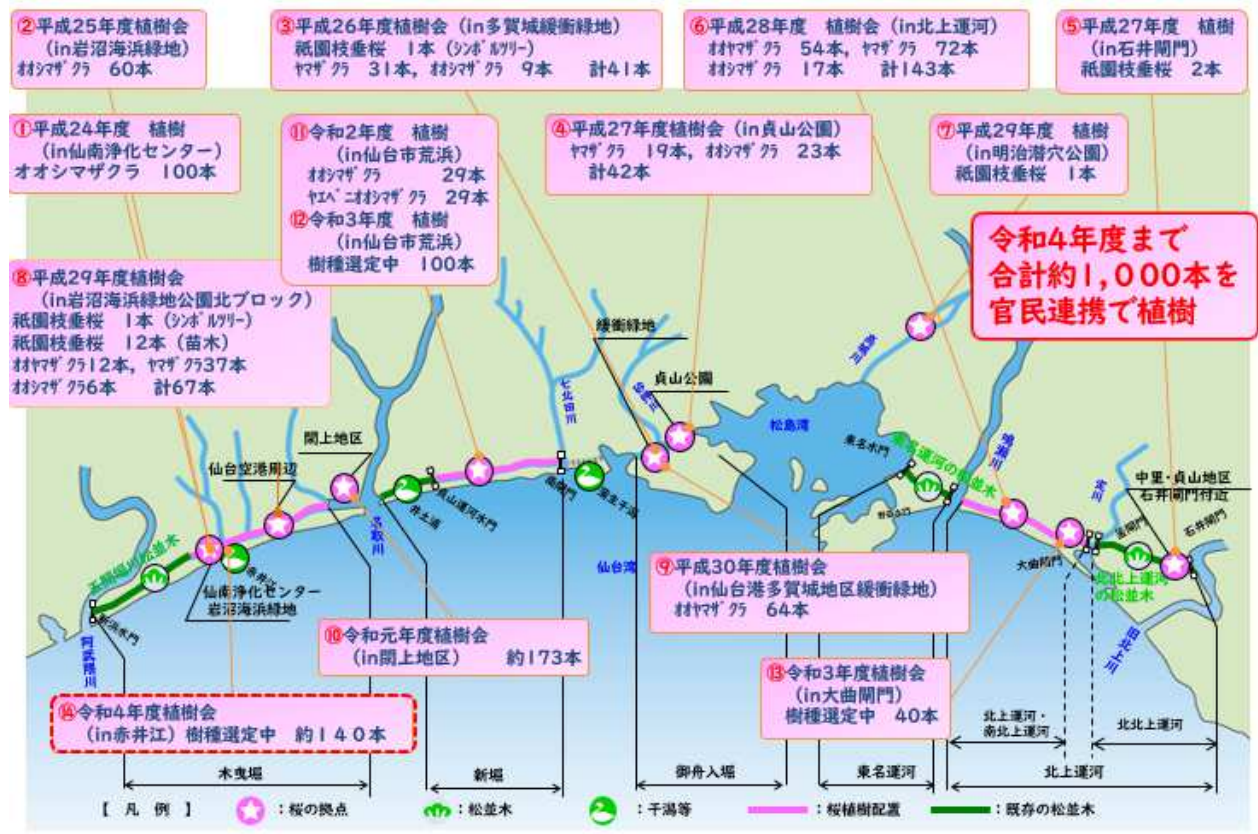


仙台・名取・岩沼コース

4. みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全

〔みやぎの運河群沿川での桜植樹の状況〕

【取組状況（位置図）】



【取組状況（植樹の様子）】



4. みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全



〔みやぎの運河群沿川での歴史の保全の取組〕



【石井閘門】



【釜閘門】



【釜閘門】
【明治期の閘尾部翼壁(閘室側)の一部の遺構】

○野蒜築港跡橋台の保全

橋台跡にかからないよう堤防位置を設定

橋台(上の橋)跡

明治初期に行われた日本初の近代港湾の建設に伴い設置された橋台(文化財)を保全するため、橋台に堤防がかからないように、堤防法線を設定し、文化財を保全

【野蒜築港跡橋台の保全】



【御舟入堀発掘調査】
【仙台市HP 発掘調査資料より引用】

藩生の日本一を敗戦しよう！日本一低い日和山・日本一長い貞山堀

仙台市蒲生北郷地区市街地復興土地区画整理事業

仙台市蒲生地区 案内板

9 蒲生御蔵跡、貞山堀(舟入堀)

平成27年度の発掘調査では、御蔵に関する遺構は発見されませんでした。御蔵跡の周囲を囲む溝跡や土垣が発見され、数十点の木簡が出土したことから、「蒲生御蔵跡」として遺跡の新規登録を行いました。

【御舟入堀の歴史看板(仙台市)】
伝承の丘より

4. みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全

〔みやぎの運河群沿川でのにぎわいの創出〕



【まちづくり事業】



【仙台東部沿岸地域での賑わい創出】



【ゆりあげ船まつり】

4. みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全



〔みやぎの運河群沿川でのにぎわいの創出（水辺の利用）〕



【北上運河の様子】



【小舟で巡る運河遊覧会 御舟入堀】



【運河遊覧 御舟入堀】



【御舟入堀アートインスタレーション】



【木造船の乗船体験（新堀）】
（貞山運河倶楽部HP引用）



【カヌー体験（木曳堀）】

4. みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全



〔みやぎの運河群沿川でのにぎわいの創出〕



【名取市 サイクルスポーツセンター】
観光物産協会HPより引用



【新浜地区 サイクリングロード】

【ライドアラウンドin多賀城with七ヶ浜】

政宗公の偉功と震災の記憶 半日コース 距離 約 15.0km 所要 約 3時間30分

<p>㊴ せんだい3.11メモリアル交遊館</p> <p>せんだい3.11メモリアル交遊館は、東北地方太平洋沖地震発生から10年を記念して、震災の記憶を語り継ぐための施設として、2021年7月10日に開館しました。震災の記憶を語り継ぐための施設として、2021年7月10日に開館しました。</p>	<p>㊵ 震災遺構仙台市立荒浜小学校</p> <p>2011年3月11日の震災発生から10年を記念して、震災の記憶を語り継ぐための施設として、2021年7月10日に開館しました。震災の記憶を語り継ぐための施設として、2021年7月10日に開館しました。</p>	<p>㊶ 貞山運河</p> <p>貞山運河は、仙台藩の藩政を支えた重要な施設として、1697年に開通しました。現在は、観光資源として活用されています。</p>	<p>㊷ 海岸公園 冒険広場</p> <p>海岸公園は、子供たちが自由に遊ぶための広大なスペースとして整備されています。2018年7月10日（日）の開催に合わせ、新たに整備された広場が完成しました。</p>	<p>㊸ 名取トレイルセンター</p> <p>名取トレイルセンターは、仙台市にありながら、自然豊かな環境の中で、トレイルを楽しむための施設として整備されています。</p>
---	---	--	--	--

【みちのくトレイル（貞山運河沿いあり）】 東北地方環境事務所HPより引用

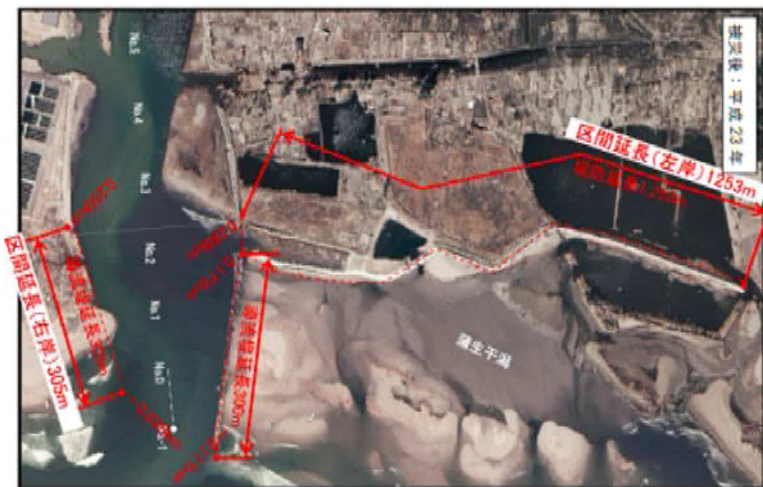


【新浜地区 フットパス】

4. みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全



〔みやぎの運河群沿川での環境の保全〕



【北上運河 松並木の保全】



【木曳堀 松並木の保全】

【震災にて流失した蒲生干潟】



【干潟が復活した蒲生干潟】



【東名運河 松並木の保全】

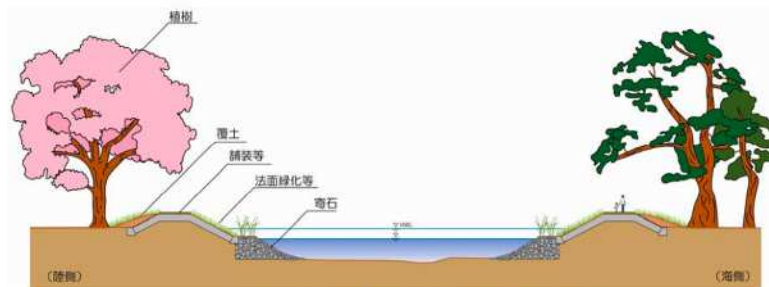


図3-1 運河らしい景観に配慮した堤防整備や植樹の一例

【貞山運河再生・復興ビジョンより抜粋】





5. 貞山運河再生・復興ビジョンの推進状況

【4つの基本目標】

- ① 地域にとって誇りある歴史的な運河群としての再生
- ② 自然災害に対して粘り強く強靱な沿岸地域の構築
- ③ 自然環境と調和し共生できる、運河周辺環境の保全・再生の推進
- ④ 継続的な地域間の連携と、未来に向けて発展できる社会環境の構築

【期別の目標】

- 短期：被災した運河群および沿岸地域の一日も早い復旧，復興理念の共有化と参加
- 中期：運河群および沿岸地域における“集いの場”の再生と，広域的な連携の拡大
- 長期：運河群の歴史を未来へと繋ぐ，100年先を見据えたビジョンの発展

貞山運河再生・復興ビジョン 4つの基本目標の推進状況

- ① 歴史的な遺稿の保存を実施（釜閘門調査）【平成24年～】
- ② 粘り強い構造の堤防を整備（まちづくりと連携した堤防整備）【平成25年～令和3年】
- ③ 自然環境と調和した施設の復旧を実施（松林の保全、覆土・緑化・桜植樹など）
【平成24年～】
- ④ 民間団体等による運河を活用した様々な取組が推進
（集客施設整備，イベント開催，舟運など水面利用，歴史の継承など）
【継続した取組】

復旧・復興事業などの短期～中期の目標は概ね達成
中期～長期の目標に向け，さらなる取組を推進



6. 貞山運河再生・復興ビジョンの今後の推進体制

今後の推進体制 ～官主体から地域主体へ～

(貞山運河再生・復興ビジョンP22抜粋)

ビジョンで掲げる中長期的な視点による取組の多くは、県の支援・連携により、沿川市町や地域住民、民間資本等を主体とすべきものになっています。すなわち、初めは県の呼びかけにより構築される推進体制が、ビジョンの取組の進行とともに沿川市町や民間を主体とする体制へと変化し、県の支援や連携自発的かつ継続的な推進体制へと発展していくことが重要です。このため、災害復旧事業や復興事業の進捗や完了、その時々々の社会状況に応じて変化できる推進体制としていきます。



みやぎの運河群の沿川では、各地域の様々な主体において、賑わいの創出、歴史の伝承、自然環境保全等の活動が実施されています。今後は、「日本一長いみやぎの運河群」を活用し、様々な主体が、各地域特性を考慮しながら、広域的な連携を図ることによって、さらなる取組の拡大が期待されます。



復旧・復興事業の完了に伴い、官主体の「貞山運河再生復興会議」から発展し
地域主体の継続的な推進体制への橋渡し

みやぎの運河群利活用推進会議の設立



歴史を未来へとつなぎ、みやぎの運河群沿川の継続的な発展へ

6. みやぎの運河群利活用推進会議



目的

「貞山運河再生・復興ビジョン」の趣旨に基づき、沿川市町や民間団体等の地域を主体とする継続的な推進体制の構築に向け、みやぎの運河群を活用した広域的な連携を推進することを目的とする。

構成員（案）

○学識経験者

元石巻専修大学経営学部 特任教授	清水義春	【観光】
石巻専修大学経営学部 教授	庄子真岐	【観光】
東北学院大学教養学部 教授	平吹喜彦	【環境】
東北大学 名誉教授	宮崎正俊	【情報科学】
宮城学院大学現代ビジネス学部 教授	宮原育子	【地域観光交流】

○行政機関

国 国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所 副所長
国土交通省東北地方整備局 北上下流河川事務所 副所長
国土交通省東北地方整備局 塩釜川港湾・空港整備事務所 副所長
環境省 東北地方環境事務所 国立公園課長

県 復興・危機管理部 復興支援・伝承課長
環境生活部 自然保護課長
経済商工観光部 観光政策課長
水産林政部 森林整備課長、漁港復興推進室長
教育庁 文化財課長、生涯学習課長
土木部 河川課長、港湾課長、仙台土木事務所 河川部長、東部土木事務所 副所長

市・町 石巻市、東松島市、松島町、利府町、塩竈市、七ヶ浜町、多賀城市、仙台市、名取市、岩沼市
【運河沿川の振興関係部署の関係課室長】

学識経験者・関係行政機関による情報共有及び意見交換を通じて、運河群沿川における広域的な連携を推進するための今後の取組の方向性やあるべき姿について議論を実施²¹



6. みやぎの運河群連絡調整会議（案）

目的

みやぎの運河群の更なる活用に向けた広域的な連携を推進するため、行政機関や民間団体等との意見交換等を通じて、関係機関による情報共有と連携強化を図ることを目的とする。

構成機関（案）

○行政機関

- 国 国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所 工務第一課
国土交通省東北地方整備局 北上下流河川事務所 調査課
国土交通省東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所
環境省 東北地方環境事務所 国立公園課
- 県 復興・危機管理部 復興支援・伝承課
環境生活部 自然保護課
水産林政部 森林整備課、漁港復興推進室
経済商工観光部 観光政策課
教育庁 文化財課、生涯学習課
土木部 河川課、港湾課、仙台土木事務所、東部土木事務所
- 市・町 石巻市、東松島市、松島町、利府町、塩竈市、七ヶ浜町、多賀城市、仙台市、名取市、岩沼市
【運河沿川の振興関係部署の関係課室】

○民間団体等

規約や会則を有するみやぎの運河群沿川で活動している団体を選定。【選定：一般公募及び沿川市町の推薦など検討】

運河群沿川で活動している民間団体等の取組紹介・意見交換により、参加者間相互で情報を共有し、それぞれの活動に生かすとともに、活動拡大に向けた連携を探る。行政機関は、可能な支援策について検討する。



- 取組の横展開や新たな取組の創出などの効果が期待。
- 関係者間の様々なマッチングにより、取組の拡大が期待。

6. 今後の推進体制 イメージ

みやぎの運河群 利活用推進会議

学識経験者・関係行政機関による情報共有及び意見交換を通じて、運河群沿川における広域的な連携を推進するための今後の取組の方向性やあるべき姿について議論を実施

報告

アドバイス

みやぎの運河群 連絡調整会議（案）

運河群沿川で活動している民間団体等の取組紹介・意見交換により、参加者間相互で情報を共有し、それぞれの活動に生かすとともに、活動拡大に向けた連携を探る。行政機関は、可能な支援策について検討する。

「地域主体の継続的な推進体制」へ発展

貞山運河再生・復興ビジョンの推進

基本目標4. 継続的な地域間の連携と未来に向けて発展できる社会環境の構築
期別目標

中期：運河群および沿岸地域における「集いの場」の再生と広域的な連携の拡大
長期：運河群の歴史を未来へと繋ぐ「100年先を見据えたビジョンの発展」